

～身近な自然を守れ！～ 「涸沼(ひぬま)浄化活動」

銚田市立旭北小学校（第10回 環境美化教育優良校等表彰事業 特別賞受賞校）

銚田市立旭北小学校は、東茨城台地、鹿島台地に囲まれ、近くには涸沼川や大谷川が流れています。

自分たちの住んでいる涸沼の環境を守るため、旭北小学校では地域に根ざした身近な環境問題を自分たちの問題としてとらえ、できる取り組みは何かを考えて環境委員会で話し合いを行いました。その解決の一つが、全校児童141名による通学路や学区内の涸沼堤防のゴミ拾いを行う涸沼浄化活動です。

今年度も「ゴミゼロで魚が集まる涸沼にしよう」というスローガンをもとに活動に取り組んでいます。

涸沼浄化活動は年2回実施され、1回目は3.5キロメートル離れた「いこいの村涸沼」にあるアイリスパークという場所まで徒歩でゴミ拾いを行います。歩くコースを低・中・高の3コースに分け、家庭より持ち寄ったレジ袋に、缶・ビン・燃えるゴミ・燃えないゴミと分別をしながら目的地まで歩きます。



自分たちの住んでいる地域をきれいにするため
児童は積極的にゴミを拾います



涸沼の堤防沿いを歩きながらゴミを回収していきます

水質検査を行い現状を理解する

高学年の児童は、学校のすぐそばを流れている大谷川沿いを北上しながら堤防の下などのゴミを拾います。途中で水質検査を行い、その結果を「涸沼浄化推進小学校連絡会議」において年1回発表しています。

数年前に水質検査を始めた頃より、ゴミは減り水質も良くなってきましたが、他の川と比較するとまだ汚れているようです。

地域の方々とも協力しながら一人ひとりの努力や協力で更なる環境改善に繋がるように調査を継続していきます。



涸沼の環境についてゲストティーチャーを招いて話を聞いています

涸沼の環境について学習する

環境学習の一環として、茨城県環境アドバイザー派遣事業を活用し、アドバイザーの方に来ていただき講演をしてもらいました。現在の涸沼流域の魚の話や魚と水との関係、涸沼と大谷川の水質検査についてなど、とても分かりやすく丁寧に説明してもらいました。このような学習を行うことによって、児童の中に環境に対する関心が高まっています。

地域への呼びかけと今後の展開

涸沼浄化活動においてはたくさんのゴミがでるため、PTAの方にゴミの回収作業などを協力してもらっています。毎年活動を行っていますが、年々、ゴミの量が減ってきています。以前は拾いきれないほどあったゴミが、今はあまり見られなくなりました。

また、地域の方々の意識も高まり、一緒にゴミ拾いを行っています。自分たちの住む地域がきれいな環境を保つには、地域や社会の協力が必要であることをこの活動を通して呼びかけていきたいと考えています。今後は、さらなる発展を求めて活動の見直しを行い、さらに環境美化を推進していくとともに、新しい活動にも取り組んでいきます。



PTAの方々にトラックを提供してもらいゴミの回収を協力してもらっています

【学校情報】※平成22年1月現在 茨城県銚田市立旭北小学校

◆住所

茨城県銚田市田崎3852

◆学校長：石崎とも子

◆児童数：141名

◆創立：昭和52年4月1日

